



令和7年
(2025年)
11月号
Vol.71

もちのき

(社会福祉法人愛の森広報紙)



[発行]社会福祉法人愛の森(厚木市森の里青山 14-2(Tel:046(248)5211)) [編集発行責任者] 國分 隆之



[書道教室]
9月16日(火)

もうひとつの軽減税率

[遊美術/10月9日(木)]
今回は「抽象画」かな?

ドジャーズの「番がホームランを打つと、「スポーツ新聞も買ってきてね」というオーダーが出ます！」

年々購読者が減っているといわれている新聞ですが…。朝、ポストに入っている新聞を持って家を出て、神奈中バスの中でざっと見て、昼食のおともに、あるいは休憩中に、また一寸ずつ読みます。読むというより見出し中心に眺めるといった方が近いかも。

翌日、その新聞は、新聞好きの利用者さんに差し上げます。これが、我が家に配達される新聞のルーティンです。一紙を二人で読むことになりまして、その利用者さんと私のコミュニケーションツールでもありますし、それなりに有効活用されているかな、と思っています。

少し話題を変えて、本と本屋さん。一番本を読んだのは多分高校のとき(大学のときでないのが悲しい💧)。通学時間が長いので、帰りの通学路、電車の時間を気にしつつ、高校から駅までの間にある2軒の比較的大きな本屋さんに立ち寄り、どんな本を読もうかな、お小遣い足りるかな、などと思いながら通ったことを思い出します。最近では本屋さんもあまりないので若い人には浮かばない情景かもしれませんが、「ネット」のない時代、本を知るのは、新聞の書評欄、本屋さんの本棚、ロコミ、などでした。

先日、新聞のコラムに、非常に魅かれるタイトルの本が出ており、思わず読みました。新聞はさすがに私と違ってきちんと読書習慣のある方々がお書きになっているでしょうから、その推薦は、書評であれコラムであれ、とても貴重です。あと、新聞の一面の最下段に並んでいる本の広告も、なかなか興味深いものがあります。昨今、新聞も本も、ぐっと読まれなくなっているようですが、「新聞読んで本も知る」という文化は、なくなってほしくないと思います。

宅配新聞の領収証をふと見て改めて気付きました。新聞の消費税率は8%です。なぜ新聞だけ?、ということには色々議論があつてのことでしょうが、食料品同様に重要なものだ、ということはあるんだと思います。今年の新聞週間、読書週間に寄せた徒然まで。[國分 隆之]

「日常」のなかでの創意工夫イベント! 9月・10月のホリデー日課は…

「休日だって職員と遊びたい!」がテーマのホリデー日課。9月・10月も、定例日?である第4土曜日、若手・新人職員中心に色々な企画にトライしましたので、御報告します!

[ホリデー日課(その1)] 賞品付きペットボトルボウリング! : 9月13日(土)



[記事は2頁上段をご参照]

グループホームの利用者さんがボウリング場に行かれた(先月号ご参照)のに刺激を受けてかどうか…。学園の利用者さんたちは、3階ホールでペットボトルボウリング大会を開催！
ペットボトルをピンに見立て、ゴムボールを使ってのボウリング。
オーソドックスに転がす方、バウンドを利用してボールに勢いをつける方、手早くペットボトルの手前まで歩いてこれら至近距離で狙う方(爆)、とルールはあってなきがごとし(〜♪。
見事ピンを倒すことが出来た利用者さんにはお菓子チケットをプレゼント！
ゲットしたチケットは、それぞれ男性寮・女性寮にもっていき、職員に綿菓子と交換してもらいます。「綿菓子」…、学園では一寸珍しいこともあり、「これ、食べれるの?」といった表情をされる利用者さんもおられました。皆さん、美味しく召し上がっておられました。

[ホリデー日課(その2)] ハロウィンと運動会シーズンにちなんで… : 10月25日(土)

ホリデー日課は毎月、楽しんでもらえる企画を瞬時にいかに考えるのか、が勝負! 当番が頭をひねります。

- 👤 10月末だし、ハロウィンだね。
- 👤 ハロウィンはいいけど何やる? ハロウィンといえば「かぼちゃ」だけど…。
- 👤 10月って、運動会シーズンでもあるし…。
- 👤 👤 😄 運動会の「大玉送り」をかぼちゃでやろう!



迎えた日課当日…。「秋晴れの空のもと、広々とかぼちゃ送りを!」といきたかったのですが、あいにくのお天気🌧️😞。すぐさま頭を切り替えて、3階サロンにて、男女入替制にて実施!

「大玉送りもどき」ですので、きちんと2列に並んでやりたかったのですが、そこはそれ、利用者さんたちは自由人! なかなかすんなり2列はなってくださいません(笑)。ある職員の思い付きで、床にテープを貼ったら、みなさんその上に立ってくださいました!!

ハロウィンのコスチュームを着た「選手代表?」の合図で「よーい、ドン!」。張り子のかぼちゃが頭上をきれいに送られていきます。列の最後まで行くと、今度は、広げた両足の間をくぐらせて前に送ります。どちらかというと、こちらの方が難しい! 後ろに目はついていないので! とはいえそこは皆さん勘のよい利用者さんたち。職員が前かがみの姿勢で後ろをのぞき込むしぐさをすると、皆さん上手にフォローし、受け取ることができました。

男性チームが終わると次は女性チーム、学園の入所利用者さんの比率は3:2ですので、女性チームの「かぼちゃ送り」は一寸短め。ハイスピードでのゴール達成となりました😊。「肩が痛いから😞」など一見消極的なコメントをされていたある利用者さん。はじめてみれば、なんのその! 一番張り切っていたりして、ほほえましい光景となりました(〜♪。

お昼までに時間がありましたので、「大玉かぼちゃ」を使って別のゲームも行い、ハロウィンの季節らしいホリデー日課となりました。



[秋の大祭!]

コロナ禍前以来の「フルオープン」で大盛況に! : 10月18日(土)

後藤祐一衆院議員、高村真和市議、高橋知己市議も、公務が多
端ながら、駆けつけてくださいました。有難うございました。

今年の「森のカーニバル」は、コロナ禍前以来の幅広いお声かけのもと、利用者さん、ご家族、地域やお取引先、行政関係の方々、職員などもあわせ、総勢200名を超える大盛況!。にぎやかで笑顔あふれる一日となりました。

お祭りといえば、まずは屋台とキッチンカー! 焼きそば、パン、チュロス、クレープ、シフォンケーキ、そして愛の森厨房特製の豚汁などのお店が並び、利用者さんには「自己選択・自己決定」、～ 要は「買い食い」😊 ～ を存分に堪能していただきました。

また、今回の模擬店では「ケアネイル体験コーナー」が初出店! 福祉・介護業界でも「おしゃれ」が重視されるなか、年々ニーズが高まっているとのことで、利用者さん・子どもさんを中心に、大好評でした!

某利用者さんのお母様が仕切る「産直野菜その他なんでも屋さん」では、迫力あるセールスを受け、今年も、山口貴裕厚木市長が買物をしてくださいました/させられてました(笑)。

さて、ステージイベントの方はご来賓の方々の挨拶などに続き、厚木市の誇る「オカリナゲンセキさん」による優しい音色が秋の空に響き渡り、また、都内から駆けつけてくださったパフォーマーAiさんによる大道芸パフォーマンスは、1つ1kgのカラーコーンを昨年の倍以上?、13個も積み重ねてアゴに載せる、ご自身初チャレンジの大技に、場内は沸き返り、大きな拍手と歓声に包まれました。



そして毎年恒例の抽選会。ご来園の皆様への景品は、時節柄、お米券5kg相当、そして、高級チョコレート。利用者さん向けの景品は、長らく「お菓子の特大盛合せ」だったのですが、皆さんメタボ対策が必要なお年頃💧となっておりますのでこれは廃止し、通販やグルメなどのギフトカード、そして特賞は「スペシャル日帰り旅行券」(指名した職員をお供に、豪華食事付きで好きなところに行っていただけ愛の森特製旅行券)といたしました。

そして本日の「めめ」は、夕方の花火ショー! 夕暮れをお待ちいただいた一部ご家族とともに、愛の森のシンボルである「ふくろう」の仕掛け花火でスタート! 煌びやかな花火が夜空を彩り、皆さまの笑顔がさらに輝く素敵なフィナーレ!

ご参加・ご出店・ご出演・ご厚志・駐車場の提供その他のご協力・ご支援をいただきました各位に、心より感謝申し上げます。今後も地域とのつながりを大切にしながら、皆さまに楽しんでいただける企画を続ける所存です。



[医学生!]**今年も東海大から、「医者卵」の皆さんが、実習に来てくださいました!****: 9月29日(月)~10月2日(木) / 10月6日(月)~10日(金)**

福祉施設が初めて、という方も多い医学部実習生の皆さんには、生の福祉現場を見ていただくとともに、医療スタッフが非常に少ないなかで医療的なこととどう向き合っているか、ということも見ていただくようにしています。先日は、貴重な気付き・助言などもいただき、「さすが医学生」と関心しました(^^)。以下、実習のご感想です(注:コメントを適宜編集しました。)

😊 事前の想像より、明るく賑やかな雰囲気。お互い慣れるにつれ、話しかけてきてくださる利用者さんがおられ、少し距離が近づいたかな、と思った。一方、お話の内容は理解できるときとそうでないときがあり、きちんと聞き取っておられる職員の姿に驚きました。

「障害」とは特別なものかと思って緊張して臨んだところもありましたが、お陰様で少し理解できましたので、今後の仕事に役立てたいと思いました。

😊 施設というのは「地域との接点や外出の機会などもあまりなく、色々なルールもあるのだろう」、と思っておりましてので、非常に「開けている」感じに驚きました。利用者さんは自由に建物内を歩き来し、日課や生活もひとり一人に合わせて組み立てられているのを実感し、非常に楽しく過ごすことが出来ました。



😊 中学生の時分、障害者施設で、「障害者とは当事者を指すものではなく、周りの環境によるもの」と教えられたことが印象に残っていました。今回実習に入ってみると、利用者さんの行動を修正するのではなく補助し、抑え込まず、思いを曲げないように捉えることの大切さや、「二語文」等の理解しやすい話し方など、利用者さんがのびのびと過ごせる工夫が日々の生活の中にあるのを知ることが出来ました。

また、色々と秀でた能力(例えば記憶力など)や特技を持っておられる方がおられることも非常に印象的で、興味深い日々でした。

**[リクルート]****「相談ブース」での就職説明会：9月27日(土)**

今年も厚木市主催の「福祉のしごとフェア」に参加しました。プレゼンで興味をもった法人・事業所の「相談ブース」を求職者・相談者の方々が訪れる、といういつものパターン。愛の森学園のブースにも約10人の方が相談に来てくださいました。法人概要や仕事の内容などを説明させていただくと、「是非、見学したい」という方も多く、業界の人材不足が言われる中、非常に有難い反応でした。見学にいらした方には、じっくり現場を見ていただく予定です。



○ 法人設立から間もなく40年。利用者さんの高齢化や施設の老朽化等が進むなか、私たちは、障害者総合支援法等に基づき国・自治体から支払われる報酬をベースに、出来る限りの経営努力を行いつつ、利用者さんの安全で楽しい毎日のための諸取組みを積極的に行っていきたいと考えています。

○ 一方、当法人の事業にご賛同いただき、ご支援いただける方からのご厚志はありがたくお受けしています。当法人では皆様からのご厚志(寄附金)は他の事業経理と区分して管理しています。皆さまのご厚志は、利用者さんの生活をより豊かにするためのサービス提供や、中長期的な施設建設積立などにもみ充当され、一般的な事業経費には流用されません。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【寄附金についてのご照会窓口：(福)愛の森総務課(Tel:046-248-5211(代表)、担当:武藤・國分)】

【寄附金受入管理専門口座：ゆうちょ銀行 / 記号 10950 / 番号 39350301 / 口座名義 ㊦アイ/リ】

【領収証の送付手続き等もありますので、電話かメール(info@ainomori.or.jp)でのご一報も頂けますと幸いです。】

